

## JPMワールド・CB・オープン

第 44 期  
運用報告書（全体版）

（決算日：2023年7月31日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPMワールド・CB・オープン」は、去る7月31日に第44期の決算を行いました。

当ファンドは世界各国の転換社債(CB)を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的とします。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／内外／その他資産(転換社債)	
信託期間	無期限です。	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて世界各国の転換社債(CB)を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界各国の転換社債(CB)を主要投資対象とします。
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。 外貨建資産への実質投資には、制限を設けません。 また株式への実質投資割合は純資産総額の30%以下とします。
	マザーファンド	転換社債(CB)への投資にあたっては、投資地域分散をはかりながら、価格水準、株価との連動性等の投資効率、発行企業の成長性および安定性等を総合的に分析し、魅力的な銘柄を選定します。加えて弾力的に為替ヘッジを行うことにより、主として為替変動による基準価額の下落リスクを軽減させることを目指します。株式(ワラントを含みます。)への投資割合は、ファンドの純資産総額の30%以下とします。同一銘柄の株式への投資割合は、取得時においてファンドの純資産総額の10%以下とします。同一銘柄のCBへの投資割合は、ファンドの純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資には、制限を設けません。
分配方針	毎年2回(原則として1月30日、7月30日)決算日に基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。	

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド」は「ワールド・CB・オープン・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

&lt;お問い合わせ先&gt;

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

ホームページアドレス am.jpmorgan.com/jp

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)		リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジあり、円ベース)		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率					
	円	円	%		%		%	%	%	百万円
40期(2021年7月30日)	10,054	1,070	5.8	42,081	7.5	33,379	3.1	92.9	4.0	13,213
41期(2022年1月31日)	8,623	20	△14.0	39,627	△5.8	30,299	△9.2	90.2	6.1	10,919
42期(2022年8月1日)	7,671	30	△10.7	41,129	3.8	27,582	△9.0	89.3	7.5	11,210
43期(2023年1月30日)	7,552	30	△1.2	41,727	1.5	27,964	1.4	88.6	5.6	13,075
44期(2023年7月31日)	7,869	20	4.5	47,026	12.7	28,509	1.9	94.6	1.9	13,456

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、当ファンドの投資対象市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません。(以下同じ)。

(注) リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

(注) リフィニティブ・グローバルCBインデックスは、Refinitiv(「リフィニティブ」)が発表しており、著作権はリフィニティブに帰属しております。リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、同社が発表したリフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。(以下同じ)。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)		リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジあり、円ベース)		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率				
	円	%		%		%	%	%
(期首) 2023年1月30日	7,552	—	41,727	—	27,964	—	88.6	5.6
1月末	7,479	△1.0	41,616	△0.3	27,789	△0.6	88.4	5.6
2月末	7,468	△1.1	42,832	2.6	27,467	△1.8	89.4	6.0
3月末	7,438	△1.5	41,819	0.2	27,229	△2.6	88.2	3.7
4月末	7,410	△1.9	42,131	1.0	27,022	△3.4	93.4	2.6
5月末	7,501	△0.7	43,994	5.4	27,134	△3.0	95.4	1.2
6月末	7,806	3.4	47,032	12.7	27,888	△0.3	97.7	1.2
(期末) 2023年7月31日	7,889	4.5	47,026	12.7	28,509	1.9	94.6	1.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

## 投資環境

### ◎CB市況

世界のCB市場動向を表わすリフィニティブ・グローバルCBインデックス(米ドルベース)は、前期末比で上昇しました。各国・地域のCBインデックスでは、米国(米ドルベース)、アジア(除く日本、米ドルベース)、欧州(ユーロベース)、日本(円ベース)は、全て前期末比で上昇しました。

- ◆期首から3月中旬にかけては、中央銀行による利上げの継続や政策金利の高止まりへの懸念が強まったこと、シリコンバレー銀行の破綻などを受けて世界のCB市場は下落しました。
- ◆その後期末にかけては、米国の債務上限問題や景気減速への懸念から、世界のCB市場は小幅に下落する局面もありました。しかし、経済指標の堅調さや、インフレ率の低下に伴って米国における利上げ打ち止め期待が広がったことなどから上昇基調で推移しました。

### ◎為替市況

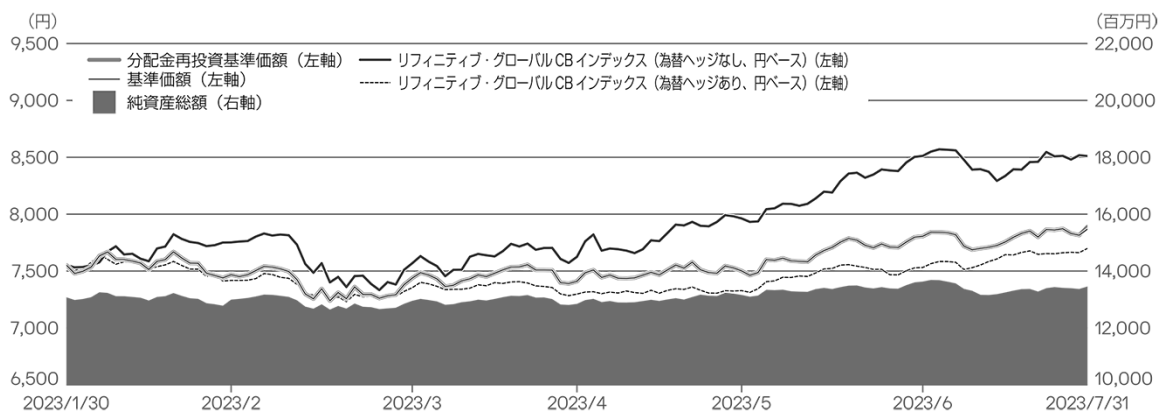
為替市場では、米国地方銀行の破綻等で相場が変動する局面もありましたが、FRB(米連邦準備制度理事会)高官による追加利上げを示唆する発言や、ECB(欧州中央銀行)、BOE(イングランド銀行)による相次ぐ利上げ、そして日銀の金融政策決定会合で金融緩和の継続が決定されたことなどを背景に、米ドル、ユーロともに対円で上昇しました。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額等の推移

○当ファンド: 基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+4.5%となりました。

○組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は+11.5%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注) 分配金再投資基準価額およびリフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

### ◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、保有証券の値上がりが見られたことに加えて、投資通貨が対円で上昇したことなどが基準価額を押し上げました。

### ◎ポートフォリオについて

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

#### ○マザーファンド

セクター別では、テクノロジーやコミュニケーションセクターがプラスに寄与したものの、消費財(景気循環)や消費財(生活必需品)セクターのパフォーマンスが振るいませんでした。各国・地域別では、北米や欧州への投資はパフォーマンスにプラスに寄与しましたが、アジア(除く日本)はマイナスに寄与しました。

## ◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は20円(税込)としました。留保益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込)

項 目	第44期
	2023年1月31日～ 2023年7月31日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.254%
当期の収益	20
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	109

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆投資家は景気後退リスクが幾分後退したと見ているものの、様々な経済指標が減速方向であることから、当ファンドの運用チームでは景気後退リスクを警戒しています。企業収益は2021年に大幅増を記録した後、底堅さを維持してきました。しかし足元では多くの企業で純利益が悪化しており、2023年は減益を見込んでいます。資金の貸し手の間では警戒感が強まり、企業収益が鈍化していることから、設備投資が抑制される可能性があります。一方で、足元のバリュエーション(株価収益率等)は、2021年末時点の高水準と比べると依然として割安であり、長期投資家にとって魅力的な投資機会になり得ると考えています。
- ◆最近のデータからは、インフレ率はピークを迎えた可能性が高く、対応可能な水準まで徐々に低下していることが伺えます。今後インフレ率が低下し、景気減速の兆しが一層鮮明になっていく中では、中央銀行は政策金利を引き下げ、株式市場の追い風になると見込んでいます。一方で、リスクシナリオとして金融システムの混乱による更なる信用収縮や企業業績の悪化、そして景気後退には留意すべきであると考えます。先行きには依然として不透明感も残ることから、ポートフォリオのポジション構築には慎重なスタンスをとる方針です。引き続き、財務健全性が高く、有能な経営陣のもと安定した成長が期待できる優良銘柄への投資を行っていきます。
- ◆CBは様々な理由から投資妙味が高い資産と考えます。第一に、最近の金利上昇、地政学的な緊張、インフレの高まりによる市場の変動性の高まりなどを背景とした資産クラスの割安感から、新規投資の好機となっています。第二に、CBは債券の特性により下落率が抑制される傾向にあることに加え、一般的な債券よりもスプレッドが大きく、デュレーションも短くなっています。また、CBにはオプション(株式に転換しうる権利)が組み入れられているため、デュレーション・リスクが大幅に低減されます。金利が上昇すると、債券部分は低下しますが、オプション部分の評価が上昇します。

### ◎今後の運用方針

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

#### ○マザーファンド

世界各国のCBを主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

## ○1万口当たりの費用明細

(2023年1月31日～2023年7月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 62	% 0.823	(a) 信託報酬 = $\frac{\text{期中の平均基準価額}}{\text{信託報酬率}}$
( 投 信 会 社 )	(29)	(0.384)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 販 売 会 社 )	(29)	(0.384)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 受 託 会 社 )	( 4 )	(0.055)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
( 優 先 証 券 )	(—)	( — )	有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価として証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
( 優 先 証 券 )	( 0 )	(0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.046	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
( 保 管 費 用 )	( 2 )	(0.025)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
( そ の 他 )	( 1 )	(0.010)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	65	0.869	
期中の平均基準価額は、7,517円です。			

(注) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

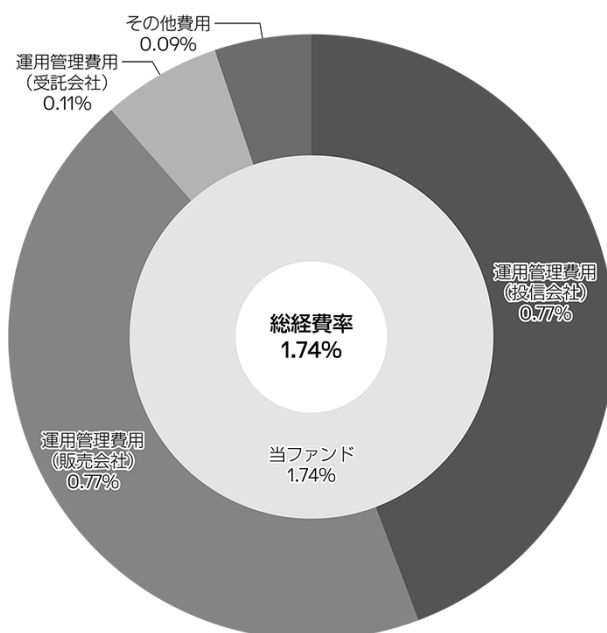
(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.74%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年1月31日～2023年7月31日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	千口 326,517	千円 1,328,577	千口 561,336	千円 2,295,089

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年1月31日～2023年7月31日)

## 利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

## 利害関係人の発行する有価証券等

## &lt;ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券&gt;

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
新株予約権付社債(転換社債)	百万円 32	百万円 -	百万円 414

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とはJPモルガン・チェース銀行です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年1月31日～2023年7月31日)

該当事項はございません。



## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年1月31日～2023年7月31日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2023年7月31日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	千口 3,335,811	千口 3,100,991	千円 13,551,024

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

## ○投資信託財産の構成

(2023年7月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	千円 13,551,024	% 99.6
コール・ローン等、その他	60,472	0.4
投資信託財産総額	13,611,496	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) ワールド・CB・オープン・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(12,840,013千円)の投資信託財産総額(13,566,351千円)に対する比率は94.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=140.97円、1ユーロ=155.35円、1英ポンド=181.20円、1スイスフラン=162.00円、1スウェーデンクローネ=13.38円、1ノルウェークローネ=13.83円、1オーストラリアドル=93.96円、1香港ドル=18.08円、1シンガポールドル=105.90円、1南アフリカランド=8.01円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月31日現在)

項目	当期末
(A) 資産	21,281,488,997
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券(評価額)	13,551,024,634
未収入金	7,730,464,363
(B) 負債	7,825,190,060
未払金	7,672,667,562
未払収益分配金	34,199,086
未払解約金	9,042,856
未払信託報酬	107,842,718
その他未払費用	1,437,838
(C) 純資産総額(A-B)	13,456,298,937
元本	17,099,543,474
次期繰越損益金	△3,643,244,537
(D) 受益権総口数	17,099,543,474口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,869円

## &lt;注記事項&gt;

期首元本額	17,312,970,052円
期中追加設定元本額	1,446,158,413円
期中一部解約元本額	1,659,584,991円

当期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

未払受託者報酬	7,189,519円
未払委託者報酬	100,653,199円

## ○損益の状況 (2023年1月31日～2023年7月31日)

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	682,063,698
売買益	1,981,827,119
売買損	△1,299,763,421
(B) 信託報酬等	△109,926,777
(C) 当期損益金(A+B)	572,136,921
(D) 前期繰越損益金	△2,501,558,616
(E) 追加信託差損益金	△1,679,623,756
(配当等相当額)	(174,654,667)
(売買損益相当額)	(△1,854,278,423)
(F) 計(C+D+E)	△3,609,045,451
(G) 収益分配金	△34,199,086
次期繰越損益金(F+G)	△3,643,244,537
追加信託差損益金	△1,679,623,756
(配当等相当額)	(175,455,840)
(売買損益相当額)	(△1,855,079,596)
分配準備積立金	11,060,713
繰越損益金	△1,974,681,494

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に関する権限を委託するために要する費用として、純資産総額に年率0.35%を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 計算期末における費用控除後の配当等収益(45,259,799円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(175,455,840円)より分配対象収益は220,715,639円(10,000口当たり129円)であり、うち34,199,086円(10,000口当たり20円)を分配金額としております。

(注) 当期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

受託者報酬	7,189,519円
委託者報酬	100,653,199円

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	20円
----------------	-----

## 課税上の取扱いについて

●普通分配金に対して、個人の受益者については、配当所得として20.315%(所得税および復興特別所得税15.315%、ならびに地方税5%)の税率で課税されます。なお、外国税額控除の適用となった場合、分配時の税金が前記と異なる場合があります。法人の受益者の場合、前記とは異なります。元本払戻金(特別分配金)は課税されません。

※上記は2023年7月末現在適用されているものです。税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になる場合があります。詳しくは税務専門家(税務署等)にお問い合わせください。

# GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド

## 第 22 期 運用報告書

(決算日: 2023年1月30日)  
(計算期間: 2022年2月1日~2023年1月30日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第22期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
運用方針	世界各国の転換社債(CB)を中心に投資し、信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	日本を含む世界各国の転換社債(CB)を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資には制限を設けません。また、株式への投資割合は純資産総額の30%以下とします。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド」は「ワールド・CB・オープン・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)		リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジあり、円ベース)		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率	純資産 総額
	円	騰落率 %	円	騰落率 %	円	騰落率 %			
18期(2019年1月30日)	28,553	△ 6.6	26,653	△ 4.3	21,735	△ 3.9	93.1	3.1	15,523
19期(2020年1月30日)	31,692	11.0	30,554	14.6	24,739	13.8	93.6	2.2	14,299
20期(2021年2月1日)	41,077	29.6	39,153	28.1	32,372	30.9	80.8	4.2	15,086
21期(2022年1月31日)	40,067	△ 2.5	39,627	1.2	30,299	△ 6.4	89.4	6.1	11,033
22期(2023年1月30日)	39,188	△ 2.2	41,727	5.3	27,964	△ 7.7	88.6	5.6	13,078

(注) リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、当ファンドの投資対象市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません。(以下同じ)。

(注) リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

(注) リフィニティブ・グローバルCBインデックスは、Refinitiv(「リフィニティブ」)が発表しており、著作権はリフィニティブに帰属しております。リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、同社が発表したリフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。(以下同じ)。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)		リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジあり、円ベース)		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率
	円	騰落率 %	円	騰落率 %	円	騰落率 %		
(期首) 2022年1月31日	40,067	—	39,627	—	30,299	—	89.4	6.1
2月末	40,550	1.2	40,074	1.1	30,498	0.7	91.4	6.2
3月末	42,890	7.0	42,498	7.2	30,735	1.4	90.2	6.3
4月末	40,515	1.1	41,735	5.3	29,041	△ 4.2	90.0	6.4
5月末	38,638	△ 3.6	40,269	1.6	28,043	△ 7.4	91.4	6.4
6月末	38,421	△ 4.1	40,763	2.9	26,661	△ 12.0	89.3	7.2
7月末	39,353	△ 1.8	41,147	3.8	27,439	△ 9.4	89.2	7.5
8月末	40,156	0.2	42,764	7.9	27,679	△ 8.6	88.3	7.0
9月末	38,592	△ 3.7	41,914	5.8	26,164	△ 13.6	90.7	5.7
10月末	40,708	1.6	43,574	10.0	26,540	△ 12.4	90.1	5.3
11月末	39,319	△ 1.9	41,879	5.7	26,834	△ 11.4	90.8	5.5
12月末	37,445	△ 6.5	40,366	1.9	26,585	△ 12.3	89.4	5.9
(期末) 2023年1月30日	39,188	△ 2.2	41,727	5.3	27,964	△ 7.7	88.6	5.6

(注) 騰落率は期首比です。

(注) リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

## 投資環境

### ◎CB市況

世界のCB市場動向を表わすリフィニティブ・グローバルCBインデックス(米ドルベース)は、前期末比で下落しました。各国・地域のCBインデックスでは、日本(円ベース)は上昇したものの、米国(米ドルベース)、アジア(除く日本、米ドルベース)、欧州(ユーロベース)、は下落しました。

- ◆期首から7月にかけては、様々なマクロ情勢の変化を受けて、下落基調となりました。ロシアによるウクライナ侵攻の影響で、地政学リスクが高まったことや、供給懸念による原油価格の高騰といった商品市場の価格変動を受けて、下落しました。インフレの上昇に伴う各国の利上げや世界経済の先行きに対する不透明感が高まったことも重しとなりました。加えて、中国で新型コロナウイルスの感染再拡大によって、一部地域においてロックダウン(都市封鎖)などの措置がとられたことも、下押し圧力となりました。
- ◆8月から9月にかけては、パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長によるハト派的発言や、7月の消費者物価指数(CPI)の上昇率が前月より減速するなどインフレのピークアウトを示唆する経済指標を受けて上昇するも、8月下旬のFRB高官によるタカ派的発言や、8月のCPIが市場予想を上回ったことでインフレ収束期待が後退し、軟調に推移しました。
- ◆10月から11月にかけては、インフレの鈍化の兆しが見られ、FRBの利上げペースが減速するとの観測が広まったことで上昇しました。12月にはFOMC(米連邦公開市場委員会)参加者の利上げ最終到達点予想が上方修正されたことで金融引き締め政策の継続が懸念され、下落しました。2023年1月は、利上げペースの減速期待や中国の経済再開に支えられ、上昇しました。

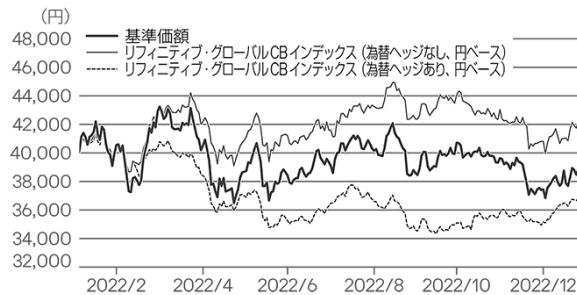
### ◎為替市況

為替市場では、米長期金利が上昇したことなどを背景に米ドルが買われたことなどから、前期末比では米ドルは対円で上昇しました。また、ユーロはウクライナ情勢への不安などは重石となったものの、欧州の長期金利の上昇などを受けて、対円で上昇しました。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額の推移

基準価額の騰落率は-2.2%となりました。



(注)リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり, 円ベース)はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

### ◎基準価額の変動要因

保有証券の価格が下落したことなどが基準価額を押し下げました。

### ◎ポートフォリオについて

セクター別では、エネルギーや基礎素材セクターなどがプラスに寄与した一方で、コミュニケーションやテクノロジーセクターのパフォーマンスが振るいませんでした。各国・地域別では、北米への投資などがマイナスに寄与しました。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆2022年の世界経済は、記録的な高インフレの抑制が主要なテーマとなりました。最新の指標ではインフレが鈍化しつつあることが示唆されているものの、各国中央銀行による積極的な金融政策が経済成長に影響を与え始めています。2022年は世界全体で企業業績の緩やかな拡大がみられた一方で、2023年にはグローバルの企業業績は緩やかに減少するとみえています。個人消費は、財政赤字と家計貯蓄の減少により抑制されるとみられ、政府支出が大幅に減少すれば、経済の総需要が低下する可能性があります。景気後退への懸念、金利上昇、企業の利益率の低下から、企業の設備投資が伸び悩む可能性もあります。そのため、2023年は主要な先進国の多くが、1～2四半期にわたり実質GDPがマイナス成長となる可能性が高まっています。しかし、景気後退が生じた場合であっても、堅調な労働市場や銀行の健全なバランスシート等が景気後退の影響を軽減させる可能性があります。経済減速が明確に表れて、インフレ率が低下方向に向かう場合、徐々に中央銀行は利上げペースを緩やかにすると見込んでいます。2022年は、ボラティリティが上昇し、金融資産が大幅に下落したことから、投資家にとって非常に厳しい年となりました。2023年の成長見通しを巡るリスクは大きい一方、2022年の大幅な下落によって景気減速は株価に一定程度織り込まれていると見ています。
- ◆CBは様々な理由から投資妙味が高い資産と考えます。第一に、最近の金利上昇、地政学的な緊張、インフレの高まりによる市場の変動性の高まりなどを背景とした資産クラスの割安感から、新規投資の好機となっています。第二に、CBは債券の特性により下落率が抑制される傾向にあることに加え、一般的な債券よりもスプレッドが大きく、デュレーションも短くなっています。また、CBにはオプション(株式に転換しうる権利)が組み入れられているため、デュレーション・リスクが大幅に低減されます。金利が上昇すると、債券部分は低下しますが、オプション部分の評価が上昇します。

### ◎今後の運用方針

世界各国のCBを主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

## ○1万口当たりの費用明細

(2022年2月1日～2023年1月30日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 優 先 証 券 )	0 ( 0 )	0.000 (0.000)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 優 先 証 券 )	0 ( 0 )	0.000 (0.000)
(c) そ の 他 費 用	25	0.062
( 保 管 費 用 )	(17)	(0.042)
( そ の 他 )	( 8 )	(0.020)
合 計	25	0.062
期中の平均基準価額は、39,721円です。		

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2022年2月1日～2023年1月30日)

新株予約権付社債(転換社債)

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
国内		千円 -	千円 -	千円 62,000	千円 133,789
外 国	アメリカ	千米ドル 14,226	千米ドル 18,707	千米ドル 10,819	千米ドル 10,977
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	300	264	1,400	1,349
	フランス	3,562	3,931	1,600	2,134
	その他	5,100	5,324	400	363
	イギリス	千英ポンド 400	千英ポンド 365	千英ポンド -	千英ポンド -
	スイス	千スイスフラン 1,060	千スイスフラン 1,389	千スイスフラン -	千スイスフラン -
	香港	千香港ドル 6,000	千香港ドル 6,209	千香港ドル 20,000 ( 7,000)	千香港ドル 3,657 ( 7,000)
	シンガポール	千シンガポールドル 1,000	千シンガポールドル 1,026	千シンガポールドル -	千シンガポールドル -

(注) 金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません)。なお、単位未満は切捨てです。

(注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

(注) 下段に( )がある場合は権利行使、予約権行使、償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

優先証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外国	アメリカ	百証券 356	千米ドル 3,495	百証券 194	千米ドル 2,492

(注) 金額は受渡し代金です。なお、単位未満は切捨てです。

(注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年2月1日～2023年1月30日)

## 利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

## 利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
	百万円	百万円	百万円
新株予約権付社債(転換社債)	191	—	351

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とはJPモルガン・チェース銀行です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2022年2月1日～2023年1月30日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2023年1月30日現在)

下記は、ワールド・CB・オープン・マザーファンド全体(3,337,347千口)の内容です。

## 外国新株予約権付社債(転換社債)

銘 柄	当 期 末			銘 柄	当 期 末		
	額面金額	評 価 額			額面金額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円		千米ドル	千米ドル	千円
LIVE NATION 2.5% CB	1,254	1,458	189,817	BURLINGTON STORES2.25%CB	1,891	2,319	301,792
ON SEMICOND 1.625% CB	573	2,029	264,120	AKAMAI TECH 0.125% CB	1,010	1,079	140,515
DEXCOM 0.75% CB	616	1,598	207,952	SOUTHWEST 1.25% CB	1,861	2,249	292,702
REPLIGEN 0.375% CB	854	1,511	196,671	BOOKING HLDGS 0.75% CB	1,212	1,753	228,153
BIOMARIN PHARM 0.599% CB	669	744	96,813	ZILLOW GRP 2.75% CB	838	867	112,884
WUXI APTEC 0% CB	1,200	1,958	254,823	PIONEER NATURAL 0.25% CB	506	1,211	157,676
CYBERARK 0% CB	568	622	80,939	CLOUDFLARE 0.75% CB	568	878	114,327
EXACT SCIENCES 1% CB	523	610	79,428	LYFT 1.5% CB	925	846	110,143
BARCLAYS BK 0% EB	1,352	1,778	231,406	FIVE9 0.5% CB	1,645	1,555	202,361
BHARTI AIRTEL1.5% REGS CB	600	767	99,847	PALO ALTO 0.375% CB	837	1,381	179,717
BARCLAYS BK 0% FOTR EB	1,689	1,822	237,063	COUPA SOFTWARE 0.125% CB	1,116	1,084	141,164
SQUARE 0.125% CB	1,123	1,149	149,535	DATADOG 0.125% CB	984	1,093	142,212
GLEN CORE 0% GLEN CB	600	698	90,841	ZSCALER 0.125% CB	754	833	108,426



銘柄	当 期 末			
	額面金額	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円	
ACACN 4% CB	1,661	2,162	281,318	
STMICRO 0% A CB	1,000	1,205	156,822	
SPLUNK 1.125% CB D	801	780	101,530	
DEXCOM 0.25% CB	714	751	97,719	
SEA 2.375% CB	1,074	1,163	151,439	
BILL COM HLDG 0% CB	718	762	99,214	
XERO 0% CB	928	768	100,017	
MONGODB 0.25% CB	729	910	118,412	
ENPHASE ENERGY 0% CB	703	724	94,315	
AIRBNB 0% CB	1,391	1,198	155,969	
FORD MOTOR 0% CB	1,841	1,864	242,564	
VINGROUP 3% EB	1,000	775	100,928	
PEN GAMING 2.75% CB	825	1,342	174,615	
GLOBALWAFERS 0% CB	800	693	90,266	
OKTA 0.375% CB	1,597	1,354	176,241	
JAZZ 2% CB	1,400	1,638	213,209	
SNAP 0.75% CB	754	683	88,906	
INSULET 0.375% CB	1,196	1,644	213,931	
MICROCHIP 1.625% CB	1,203	2,654	345,319	
FARFETCH 3.75% CB	318	279	36,316	
ON SEMICOND 0% CB	738	1,110	144,520	
ETSY 0.125% CB	474	489	63,665	
DROPBOX 0% CB	1,274	1,158	150,675	
MERCADOLIBRE 2% CB	759	2,135	277,897	
MATCH GROUP 2% CB	500	482	62,757	
LIB MED IT 1.75% 144A EB	499	563	73,283	
小 計	額面・金額	50,665	63,201	8,223,201
	銘柄数<比率>	52	—	<62.9%>
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円	
MTU AERO 0.125% MTX CB	400	732	103,566	
ZALANDO 0.05% A CB	1,100	994	140,627	
小 計	額面・金額	1,500	1,726	244,194
	銘柄数<比率>	2	—	<1.9%>
(ユーロ・・・フランス)	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ARCHER 0% PUM EB	1,000	963	136,372	
SAFRAN 0.875% SAF CB	1,886	2,471	349,581	
EDENRED 0% EDEN CB	694	687	97,318	
小 計	額面・金額	3,580	4,122	583,272
	銘柄数<比率>	3	—	<4.5%>

銘柄	当 期 末			
	額面金額	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ・・・その他)	千ユーロ	千ユーロ	千円	
AMERICA MOVIL 0% EB	1,100	1,130	159,926	
JPM 0% MCFP EB	2,200	2,481	351,050	
ANLLIAN CAPITAL 0% EB	1,400	1,836	259,867	
AMADEUS IT 1.5% CB	2,000	2,403	340,085	
LAGFIN SCA 2% EB	600	651	92,136	
GBL 2.125% EB	1,300	1,312	185,612	
CELLNEX 0.5% CLNX CB	800	871	123,292	
小 計	額面・金額	9,400	10,687	1,511,971
	銘柄数<比率>	7	—	<11.6%>
ユーロ計	額面・金額	14,480	16,536	2,339,438
	銘柄数<比率>	12	—	<17.9%>
(イギリス)	千英ポンド	千英ポンド	千円	
WH SMITH PLC 1.625% CB	900	821	132,444	
小 計	額面・金額	900	821	132,444
	銘柄数<比率>	1	—	<1.0%>
(スイス)	千スイスフラン	千スイスフラン	千円	
SIKA 0.15% CB	1,640	2,309	326,324	
小 計	額面・金額	1,640	2,309	326,324
	銘柄数<比率>	1	—	<2.5%>
(香港)	千香港ドル	千香港ドル	千円	
CHINA CONCH 0% CB	8,000	8,779	145,915	
ZHONGSHENG 0% CB	10,000	12,051	200,300	
CATHAYPACIFICAIR2.75%CB	6,000	6,341	105,389	
小 計	額面・金額	24,000	27,172	451,605
	銘柄数<比率>	3	—	<3.5%>
(シンガポール)	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千円	
SINGAPORE AIR 1.625 CB	1,000	1,118	110,921	
小 計	額面・金額	1,000	1,118	110,921
	銘柄数<比率>	1	—	<0.8%>
合 計	額面・金額	—	—	11,583,937
	銘柄数<比率>	70	—	<88.6%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) ( )内には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。ただし、ユーロの場合は当該有価証券の発行地または取引市場の国または地域名を記載しております。うち、ユーロ圏以外の発行地または取引市場の国または地域名については、「ユーロ・・・その他」の欄に記載しております。

## 優先証券

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
		証券数	証券数	評 価 額	
				外貨建金額	
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)	百証券	百証券	千米ドル	千円	
KKR & CO INC 6% C PFD	146	209	1,413	183,878	各種金融
DANAHER CORP 5% B PFD	8	16	2,185	284,339	ヘルスケア機器・サービス
NEXTERA ENERGY 6.926% PFD	—	186	901	117,327	公益事業
AVANTOR 6.25% A PFD	102	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BSX 5.50% PFD	—	99	1,134	147,674	ヘルスケア機器・サービス
STANLEY BLACK & DECKER INC 5.25% PFD	84	—	—	—	資本財
(アメリカ・・・米国店頭市場)					
BROADCOM INC 8% A PFD	7	—	—	—	半導体・半導体製造装置
合 計	証券数・金額	349	511	5,635	733,219
	銘柄数<比率>	5	4	—	<5.6%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 証券数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 証券数に「—」印がある場合は組入れなしを表します。

(注) ( )内には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。

○投資信託財産の構成

(2023年1月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	11,583,937	87.9
優先証券	733,219	5.6
コール・ローン等、その他	862,217	6.5
投資信託財産総額	13,179,373	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。  
 (注) 当期末における外貨建純資産(12,444,533千円)の投資信託財産総額(13,179,373千円)に対する比率は94.4%です。  
 (注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=130.11円、1ユーロ=141.47円、1英ポンド=161.32円、1スイスフラン=141.32円、1スウェーデンクローネ=12.64円、1ノルウェークローネ=13.21円、1オーストラリアドル=92.59円、1香港ドル=16.62円、1シンガポールドル=99.17円、1新台幣ドル=4.2857円、1南アフリカランド=7.57円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月30日現在)

○損益の状況 (2022年2月1日~2023年1月30日)

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,179,373,381 円
コール・ローン等	842,539,396
公社債(評価額)	11,583,937,404
優先証券(評価額)	733,219,377
未収利息	18,070,089
前払費用	1,607,115
(B) 負債	100,914,001
未払金	96,846,526
未払解約金	4,067,475
(C) 純資産総額(A-B)	13,078,459,380
元本	3,337,347,093
次期繰越損益金	9,741,112,287
(D) 受益権総口数	3,337,347,093口
1万口当たり基準価額(C/D)	39,188円

項 目	当 期
(A) 配当等収益	110,980,147
受取配当金	29,341,961
受取利息	81,788,000
その他収益金	17,307
支払利息	△ 167,121
(B) 有価証券売買損益	△ 312,022,484
売買益	1,637,063,274
売買損	△1,949,085,758
(C) その他費用等	△ 7,176,433
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 208,218,770
(E) 前期繰越損益金	8,279,756,377
(F) 追加信託差損益金	4,107,354,721
(G) 解約差損益金	△2,437,780,041
(H) 計(D+E+F+G)	9,741,112,287
次期繰越損益金(H)	9,741,112,287

<注記事項>  
 期首元本額 2,753,736,091円  
 期中追加設定元本額 1,404,168,450円  
 期中一部解約元本額 820,557,448円  
 元本の内訳  
 JPMワールド・CB・オープン 3,335,811,453円  
 GIMワールド・CB・オープンVA(適格機関投資家専用) 1,535,640円

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

- 2022年10月29日付で、資金動向、市況動向、経済情勢、投資環境等の変化に対応するために、やむを得ない事情がある場合には投資態度にそった運用が行えない場合がある旨の記載を追加するため、信託約款に所要の変更を行っております。
- 2022年10月29日付で、GIMワールド・CB・オープンVA(適格機関投資家専用)における報酬等の支弁について、計算期間の最初の6ヵ月終了日が休業日の場合は翌営業日を当該終了日とする信託約款の変更を行っております。